



「ろうきん森の学校フェスティバル」開催！ 県労福協と NPO 法人ひろしま自然学校が合同で開催

2022年10月29日(土)、山県郡北広島町の「ろうきん森の学校」において、
145名の参加を得て「ろうきん森の学校フェスティバル」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策を十分
に行った上で、参加人数も縮小して開催しまし
た。

当日は好天に恵まれ、有料事前予約プログラ

ムのカヌーやアースウォーク、石窯ピザ作り、
藍染体験に加えてその他の自由参加プログラム
も人気を博し、参加者のみなさんには自然に親
しみ、家族一緒に楽しんでいただきました。



《石窯ピザ作り》



2023
年度

「勤労者福祉の拡充・強化に関する要請書」を県に提出

県労福協は、地方の課題や県労福協・福祉事業団体の独自要求をまとめた「2023年度勤労者福祉の拡充・強化に関する要請」を策定し、2022年10月31日(月)県庁東館にて久光会長から川口商工労働局長に手交しました。

要請には、広島県から川口商工労働局長他5名、広島県労福協から久光会長他5名が出席しました。



冒頭、久光会長は県労福協の諸活動に対する広島県の理解や協力、県担当者みなさんの丁寧な対応に感謝の意を申しあげました。続けて、新型コロナウイルス感染は、まだまだ予断を許さないこと、ウクライナ問題や物価上昇、自然災害など対処すべき課題が山積している。そうした状況の中で、県労福協は連合広島を中心とした労働組合のみなさん、さらには各福祉事業団体とも連携して、「支え合い」の精神に基づき県内に働く人たちが体も心も健康で幸せを感じられるよう、福祉の向上に貢献していくので、県労福協および福祉事業団体の活動に理解をいただき、次年度の予算に反映していただきたいと挨拶しました。

続いて高本事務局長より労福協関連項目について主旨説明を行いました。福祉事業団体からの要請は、中国労働金庫は善積副会長、こくみん共済coopは寺戸副会長、広島県労働会館は山崎副会長がそれぞれ現況報告と県への要請を行いました。

【要請内容の骨子】

I. 県労福協活動関連項目

- (1) 広島県勤労者福祉対策費補助金について
- (2) 大規模災害等に備えての防災・減災対策の強化について
- (3) 格差是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの充実について
- (4) 多重債務者対策について
- (5) 消費者行政の充実・強化について
- (6) デイセント・ワークの確立
- (7) 中小企業勤労者の福祉格差の是正
- (8) 安心・信頼できる社会保障の構築
- (9) 協同組合の促進・支援

II. 自殺対策事業に対する支援要請について

III. 福祉事業団体関連項目

- (1) 中国労働金庫からの要請について
- (2) こくみん共済coopからの要請について
- (3) (一社) 広島県労働会館からの要請について

意見交換の後、川口商工労働局長より「それぞれの要請内容について関係部局と協議の上、2023年1月に回答をさせていただく」との発言を受け、今年度の要請を終えました。



広島修道大学での『連合広島寄付講座』で久光会長が講義



広島修道大学で連合広島が実施している「連合広島寄付講座」が、10月6日(木)に開講され、久光県労福協会長が講師として「労働者自主福祉運動の取り組み」をテーマに講義を行いました。

講義は広島修道大学の5号館で行われ、250名を超える学生が熱心に耳を傾けました。講義は、広島県労福協の紹介



から始まり、労福協が創設された背景や現在に至るまでの歩み、福祉事業団体が創設された歴史や、労金・こくみん共済coopが他の金融機関や保険会社とどう違うのかについても説明しました。

さらに、中央労福協が取り組んできた「奨学金問題」に触れ、労福協を中心に労働界や法律家、市民団体等が結集し、給付型奨学金制度の創設に繋がったこと、しかしながら、まだ不十

分な点が多く、労福協はこれからも奨学金問題と教育費負担軽減の取り組みを継続していくことを強調しました。

最後に、「労働者自主福祉運動のこれから」として、世代を超えてつながり、労福協の活動を広く若い人にも知ってもらいたい、そのために私たちも若い人たちの考えや活動を知りたいと結び、講義を終えました。

講義終了後に回収したアンケートには、奨学金問題に関する意見が多数寄せられ、学生の関心の高さが窺えました。



中央労福協 『第10回加盟団体代表者会議』 開催

2022年11月25日(金)、中央労福協の加盟団体代表者会議がハイブリッド方式で開催されました。

会議では、2022年度活動報告、2022年度会計決算報告、収支差額処分(案)、会計監査報告、2022～2023年度活動方針の補強(案)、2023年度会計予算(案)が提案され、全議案とも承認されました。



《挨拶する芳野会長》

2022～2023年度活動方針の補強(案)

ポストコロナ社会への対応(2023年度補強)

1. 諸活動の見直しや会議体のあり方などについて検証し、ポストコロナ社会に適する組織運営を確立する。併せて、従来からの対面の強みを深化させるとともに、リモートのメリットを最大限活かしながら、すそ野を広げる新しい運動を展開することによって、すべての働く人たちや地域の人たちに寄与する労働者福祉運動を推進する。
2. 生活・就労応援基金(ろうふくエール基金)は、2022年度～2023年度においては基金を存続する。2024年度以降の基金の取り扱いについては、財政面を考慮した上での継続的な支援のあり方や助成対象等を整理し、第66回定期総会で提起する。



《東京会場で意見を述べる久光会長》



西部
労福協

「第40回研究集会」今年も広島で開催！

テーマ：「平和で安心して働きくらす持続可能な社会を！」
～今こそ西部労福協の力を結集しよう～

2022年11月10日(木)、西部労福協「第40回研究集会」がワークピア広島で開催され、中四国から42名、広島からは10名が参加しました。



西部労福協 森会長の挨拶に続き、地元労福協を代表して久光会長が歓迎の挨拶を述べました。

講演1では、中央労福協事務局長の南部美智代氏より、「奨学金制度改善・教育費負担軽減の取り組み」と題した講演をいただきました。



南部氏は、奨学金制度の現状と問題点について詳しく説明を行い、今後も中央労福協は奨学金制度の改善と教育費負担軽減の取り組みを推進していくことを強調しました。

最後に、時代が「集団」から「個」へ、「結果重視」から「プロセス重視」へ、「画一性」から「多様性」へと変化する中、労福協創業の精神「福祉はひとつ」をモットーに、地域から労働者

自主福祉運動を発展させていただきたいと締めくくりました。

続いて、県立広島大学大学院の木谷宏氏を講師として招き、「労働者福祉としての働き方改革」～感染症リスク社会における働きがいとは～と題した講演をいただきました。

この講演で、木谷氏は「ワークライフバランス」と「働き方改革」の関係性を示し、「働きがいの向上」が重要な課題となっていくので、これからの労働者福祉は、「働きがいの向上」を目指すことが必要だと締めくくり、講演は終了しました。



県労福協は今後も西部労福協と連携し、中央労福協が掲げる「貧困や社会的排除がなく、人と人のつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらす持続可能な社会」の実現に向けて取り組みを推進していきます。

伊丹氏・三浦氏 令和4年度「勤労者福祉功労知事表彰」を受ける

令和4年度「勤労者福祉功労知事表彰式」が、11月25日(金)県庁北館で行われ、湯崎広島県知事から、伊丹幸男氏(自動車総連 マツダ労働組合)と三浦英次氏(運輸労連 全日通労働組合 広島県支部)両名に表彰状が授与されました。(当日は三浦氏が諸般の事情で欠席されたため、全日通労働組合広島県支部の中井副委員長が表彰状を受け取られました。)



三浦氏

「勤労者福祉功労知事表彰」は、多年にわたり勤労者福祉の増進、中小企業の労働福祉の向上に積極的に取り組み、その功績が顕著で、他の模範と認められる個人及び団体を表彰するものです。

なお、お二人は、来年1月6日(金)に開催される「連合広島・広島県労福協 2023年新春旗開き・賀詞交歓会」でみなさんに披露されます。県労福協、連合広島からはお二人に記念品を贈呈することとしています。



表彰状を受け取る伊丹氏



伊丹氏

湯崎知事

三浦氏の代理 中井氏

地区労福協だより

【広島西地区労福協】「秋のイベントバスツアー」

2022年11月5日(土)、広島西地区労福協「秋のイベント」として「四国水族館と塩作り体験ツアー」を開催しました。

3年ぶりに県外バスツアーを企画し、当日は爽やかな秋晴れのもと総勢57名のご家族に参加いただきました。

「塩作り」体験では、岡山県倉敷市児島地区において大規模な塩田経営で財をなした「旧野崎家」住宅の見学と実際に塩作りを体験しました。

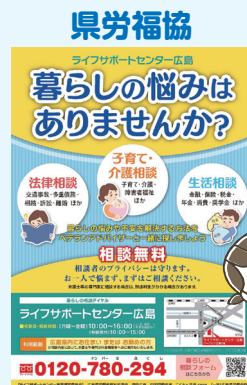


塩作りは、火加減と塩水の混ぜ加減によりたくさんの塩を作ることができ、小さなお子さんと一緒に楽しむことができました。

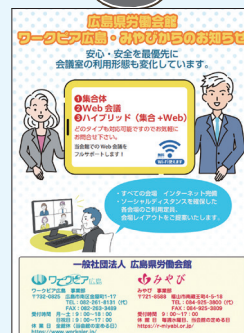
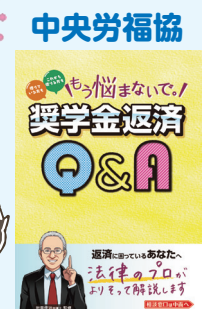
鷺羽山で昼食休憩後、瀬戸大橋を渡り2020年に新規オープンした四国水族館を訪問しました。メインのイルカショーやカワウソとアシカの食事タイム見学、多くの水槽を泳ぐたくさんの魚たちを前に大人も子供も楽しい時間を過ごすことができました。

労働者福祉協議会 各事業団体 のご案内

県労福協ホームページでは、中央労福協や福祉事業団体(労働金庫・こくみん共済coop・広島県労働会館)の取り組みを紹介していますのでご覧ください。



労働金庫



労働会館



こくみん共済coop



ろうきんからのお知らせ



「広島県推進代表者集会」開催



11月11日(金)13時30分より、ワークピア広島 4階『芙蓉』にて、広島県推進委員、各地区推進幹事、広島県出身理事、営業店長の参加（計80名）を得て「2022年度中国ろうきん広島県推進代表者集会」を開催しました。

推進代表者集会は、広島県推進委員会と営業店推進委員会で隔年開催しており、2022年度は広島県主催で開催しました。内容は、中国労働金庫が推進している「預かり資産販売」へのご理解をいただくことを目的として企画・実施しました。

講演内容



瀬光常務理事

講演第1部

中国労働金庫はなぜ「預かり資産販売」に取り組むのか

講師：中国労働金庫常務理事 瀬光 秀昭

講演第2部

「勤労者の資産形成」～その必要性とめざすべき方向性～

講師：野村證券株式会社 金融商品仲介推進部

シニアアドバイザー 八木 格



八木講師

講演第1部では、瀬光常務理事より中国労金が預かり資産販売に取り組む経過や目的について熱意を込めて講演いただき、第2部では、野村證券株式会社八木様より、資産運用を促す環境変化と資産形成の運用について分かりやすく丁寧に説明いただきました。

講演後、参加者から「資金的に余裕のない若い世代に資産形成の必要性を説明する際の切り口を教えてほしい」「アメリカのある大学が発表した4%ルールは日本でも有効に通用するのか」という質問が寄せられました。

また、集会後のアンケート内容は、「大変勉強になった」「気づきの多い講演だった」「資産運用の理解が深まった」「単組でも資産形成の必要性を広めたい」など大変好評をいただく結果が得られ、2022年度の集会を成功裡に終えることができました。

今後、各店において会員、構成員、そしてご家族に対し、更なるお役立ちに繋げてまいります。





こくみん共済 coop からのお知らせ

こくみん共済 NEWS

3422W008

2022年10月 府中地区労福協より横断旗を寄贈しました！

2019年1月から7才の交通安全プロジェクトとして、マイカー共済お見積もり1件につき、横断旗1本を地域に寄贈する取り組みをすすめています。

この活動は、交通事故の死傷者数は7才が突出して多く、成人の2.5倍と、活動範囲が広がることで交通事故に巻き込まれやすいというデータに着目し、自動車の保障を扱うこくみん共済 coop として交通事故に巻き込まれる子供たちを守ることはできないかということからスタートいたしました。“未来ある子どもたちを交通事故から守りたい”そんな思いから「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んできました。

7才の交通安全プロジェクト



あなたのマイカー共済のお見積もりが、横断旗1本の寄贈になります。

皆さまのご協力により

2022年6月～10月の期間で**2,000件**のお見積りをいただきました！

このたび2022年度の取り組み分として、10月31日(月)に府中地区労働者福祉協議会の西林会長から広島県神石高原町役場へ50本、広島県府中市教育委員会へ80本を寄贈しました。

あらためてこの取り組みの趣旨にご賛同いただきました広島県労働者福祉協議会をはじめ、各地区労福協ならびに、ご協力いただきました協力団体および組合員の皆さまへ深く感謝申し上げます。



2022年10月31日(月) 広島県府中市教育委員会への寄贈
＜左から＞府中地区労働者福祉協議会 西林会長
府中市教育委員会 荻野教育長



2022年10月31日(月) 神石高原町役場への寄贈
＜左から＞中国労働金庫府中支店 中支店長、こくみん共済 coop 北村代表委員
神石高原町 入江町長、府中地区労働者福祉協議会 西林会長
府中地区労働者福祉協議会 田村事務局長、こくみん共済 coop 梅平エリアマネージャー

また、こくみん共済 coop のホームページでは「私のまちの7才の交通安全ハザードマップ」を公開しています。2022年9月から利用者による投稿が可能となりました。ぜひ、この取り組みにご協力をお願いします。

＜私のまちの7才の交通安全
ハザードマップ＞



こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会

(広島県労働者共済生活協同組合)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



〈ろうきん〉のキャッシュカードは、
対象ATMの **お引出し手数料が**

いつでも! 0円!



コンビニATMなら
24時間365日
ご利用いただけます。
手数料がかかった場合も
即時キャッシュバック!

手数料実質0円対象ATM



※ファミリーマートでは一部有料のATMがございます。ご利用の際は「E-net」のロゴをご確認ください。

下記の提携ATMは、キャッシュバックの対象外となるため、手数料がかかります。

■都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協のATM

■その他のコンビニATM

※ATM取扱時間帯は、店舗やキャッシュコーナーにより異なる場合があります。

(2022年4月1日現在)



中国ろうきん ホームページ

<https://www.chugoku.rokin.or.jp/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

〈ろうきん〉は、良質な金融商品・サービスの継続的な提供を通じて、全ての勤労者やその家族が生産にわたる安全・安心・豊かに暮らせる社会づくりを進めます。

こくみん共済 NEWS

7才の交通安全プロジェクト

未来ある子どもたちを、交通事故から守っていく。

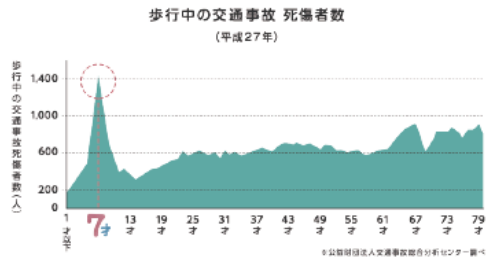
「7才の交通安全プロジェクト」では、横断旗の寄贈や、特設サイトでの情報発信など、子どもたちの安全を守るための取り組みを行っています。



子どもたちのための交通安全
デジタル絵本を公開。



横断旗を全国に寄贈。



こくみん共済

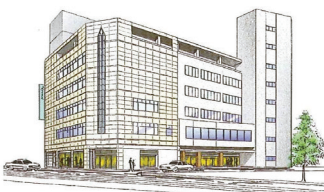
こくみん共済 coop は、営利を目的としない非営利の組織として、共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。当共済会を正会員、いいたいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

一般社団法人 広島県労働会館

【新型コロナウイルス対策について】
○定期的な換気の推奨 (窓完備)
○各会場はご利用毎に消毒
○会場面積に対しての推奨定員をご提案します。
○周囲との距離を十分にとったレイアウトをご提案します。



ワークピア 広島 事業部
ユニオントラベル広島



あなたの旅のコンシェルジュ
最大限の対策をしてお待ちしております!!

＜旅行部門＞

国内・海外旅行 バスレク (日帰り・宿泊)
組合イベント 周年行事の手配
宿泊研修・出張手配 家族・職場旅行

詳しい内容・ご相談はユニオントラベル広島まで、お気軽にお問合せください。

TEL 082-261-8131

FAX 082-263-3489

E-mail info@workpier.jp

URL <https://www.workpier.jp>

受付時間 9:00~19:00 (日曜・祝日は17:00まで)

みやび 事業部



街で噂の
牛すじ黒カレー

新発売
スパイシー
辛口

540円 (税込)

スパイシー辛口
1人前 200g
レトルトカレー

〒721-8588

広島県福山市南蔵王町4丁目5番18号

TEL: 084-925-3800 URL <https://r-miyabi.or.jp/>